

伊達開来新聞

令和6年度 第1号

【発行者】
北海道伊達開来高等学校新聞局
【所在地】
〒052-0011
北海道伊達市竹原町44番地

新聞局の活動について

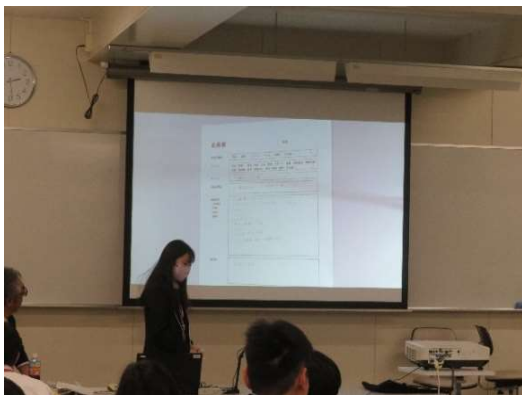
新聞局は現在、毎週水曜日に、二年生二名、一年生二名で活動している。今年度は、新聞製作、学校祭や体育祭における写真撮影、室蘭支部新聞局研究大会への参加といった活動をしてきた。また、一月にはだて歴史の杜カルチャーセンターで行われる市民総合文化祭の「伊達写真連盟作品展一般公募展」に写真を出品した。



▲ものづくり体験の様子

第一回高文連大会の参加報告

六月一三日、北海道室蘭東翔高等学校において第一回高文連室蘭支部新聞研究大会が開催された。午前中に室蘭工業大学の中にあるものづくり基盤センターにおいて、講義やものづくりを体験した。午後は会場に戻り、取材したことをもとに一人一枚新聞を制作した。制作後には推敲のためのグループワークも実施した。さまざまな新聞を読み合い意見を交流しあったことで見分が広がり、今後の活動に生きる有意義な大会となった。



▲武田局長による発表

第二回高文連大会の参加報告

一〇月二二日、北海道室蘭東翔高等学校において第二回高文連室蘭支部新聞研究大会が開催された。北海道札幌啓成高等学校で新聞局顧問を務める岩間洋之先生を講師に迎え、午前は新聞製作の基礎に関わる内容の講義を受けた。午後からは、インタビューする時のコツや相手を不快にさせない質問の仕方などを演習形式で学んだ。

また、各校で制作した新聞の比較検討も実施した。どのようなレイアウトにするのか、文章の構成や何を伝えたいのかについて、実際の学校新聞を比較しながら各高校の新聞制作のための技術を高めるための話し合いが持たれた。

令和六年度の高文連室蘭支部大会はこれで終了となる。どのような話れば見やすくなるか、どのような話題が読者の興味を引くのか、二回にわたる大会参加の経験を生かして、今後の新聞制作に生かして活動を継続していく。

市民総合文化祭への写真出品について

一〇月一日から開催されている伊達市の市民総合文化祭において、伊達写真連盟が企画した「伊達写真連盟作品展一般公募展（十一月一日～二三日、だて歴史の杜カルチャーセンターあけぼの講堂）」へ、新聞局より七作品を出品した。

今年度は「有珠山噴火の記録&記憶」が特設され、フィルムカメラで写された噴火の瞬間や、噴火で発生した稲妻を捉えた写真が展示され、訪れた人はその迫力に息をのんでいた。写真展には本校の他に、会員による作品、一般公募された作品、北海道壮瞥高等学校写真部の作品が展示されていた。自然の瞬間を捉えたもの、人の表情を切り取ったもの、足元や髪の毛にフォーカスしたものなどさまざまな作品が並ぶ。題名のつけ方なども工夫が凝らされ、写真撮影に関わる技術を向上させることができた。



▲写真展に出品した局員の写真

編集後記

初の新聞発行となり思ったよりも大変で、時間がかかってしまいました。次の新聞発行はもっと早く書き上げて発行していきたいです。（武田実莉）

コンピューター上で新聞を作ることは初めてでしたが、研究会で学んだことを生かして製作することができたと思いました。（山田渉太）

新聞を書く機会はなかなかなかったため、計画通りに新聞を完成させることが難しかったです。（水戸愛乃）

新聞を書くことは初めてで苦戦しましたが、研究会での経験を活かしてこれからも精進していきます。（森輝陽）



▲写真展に参加した局員